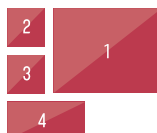
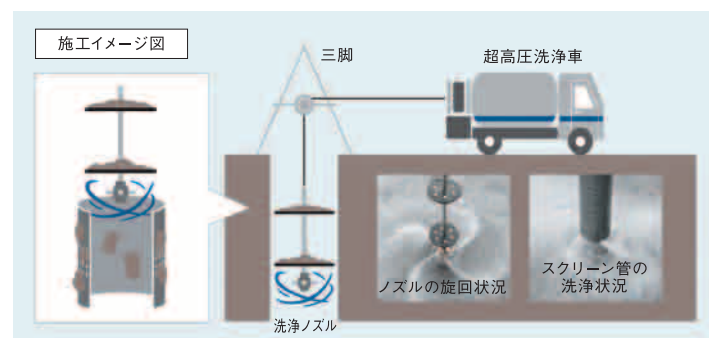


給水補給車の導入による老朽化した井戸の復元・延命化技術の高度化



1／導入により作業時間の短縮と働く人の負担軽減、作業効率向上を実現した給水補給車。作業が終わるたびに隅々まで清掃し「みえないところほど美しく」を実践している。2／給水補給車とともに出動、井戸の洗浄に活躍する超高压洗浄車。3／水中カメラで井戸の内部の状況を確認しながら確実に施工する。4／高速回転する洗浄ノズルから高压水を噴射させて井戸内部をきれいにする、ユニバーサル洗浄工法のイメージ。

給水補給車の導入で作業効率を大幅に改善。

井戸は飲み水のほか工場、農業、消雪、防災など幅広く利用されている。長く使っている井戸は取水部分が砂やさびで目詰まりし、水が出にくくなる。VEEmaでは、高速回転する洗浄ノズルから超高压の水を噴射し、井戸をきれいにする特許技術「ユニバーサル洗浄工法」を、1999年に福井工業大学と共同開発。水中テレビカメラで確認しながら作業するため、水の復活率98%を誇る。工期が短いうえに費用も新規掘削の1/4と安く、狭い場所でも施工が可能。薬剤を使わず環境に優しいと高い評価を受けている。

洗浄に使う水は従来、トラックに容量1トンのポリタンクを2〜3基積んで現場に運んでいた。しかし、水の積み込みは2人

で1時間余りかかり、井戸によっては何度も給水、運搬を繰り返さなければならず作業の遅れにつながった。

このため容量3.4トンのステンスタンクを積んだ給水補給車を導入した。給水補給車は吸引圧送ポンプも装備し、約10分程度で水が積み込める。2人必要だった作業は1人で対応でき負担も軽減できた。人員の効果的な配置により工期の短縮、作業の低コスト化に貢献。作業効率の向上により、さまざまな現場ニーズに対応可能になった。

注目すべき成果

作業効率の向上で労働の負担軽減も。

給水補給車の導入により、水を汲み取る時間が大幅に短縮できたほか、作業に必要な人員も従来の2人から1人に減り、作業内容も軽減できた。工期の短縮とともに井戸再生作業の低コスト化につながった。

本事業による付加価値

井戸の再生・長寿命化の提案も。

給水補給車の導入により大量に給水ができるため、洗浄力が向上。水中テレビカメラの映像が鮮明になり、井戸の状況や不具合が起きた原因などを正確に把握できることから、緊急を要する対策など、より長く井戸を利用するための改修計画の提案も視野に入る。

今後の展望

災害時の給水対応も目指す。

地震など災害時に給水補給車を出動させることで、水道が断水した被災地の住民に飲料水や生活用水を届ける活動も可能。最も重要な生活水の確保に向け、海外での支援活動も視野に活用を図る。

ものづくり専門員から一言

井戸洗浄に関わる特許技術は7つに及ぶ。その技術の基本は”見える化”。

取得した7つの特許の基本は“見えること”。揚水データはもとより、施工前・施工後の井戸内部の状態を“見える化”し、以後のメンテナンス意識につながる効果も発現。更なる技術開発と海外の井戸での活用を目指し洗浄技術が無償で提供するとの想いが、あらたな事業連携の可能性を生んでいく。

こんな会社です！

見えないところほど美しく豊かな水資源、水環境を次世代へ。

社名は古代ギリシャ語で「一歩」を意味します。勇気をもって一歩踏み出し、歩を進めたいとの思いを込めました。「見えないところほど美しく」を企業理念に、井戸や排水管など人目につにくいあらゆる管の洗浄、保守管理をしています。水量が減った井戸を特許技術のユニバーサル洗浄工法で復活させ、多くのお客様に喜んでいただいています。情報化が進み人々の暮らしが変化しても、人間には“水”が必要です。私たちの命の源であり大きな恩恵をもたらしている地下水と井戸を、未来の子どもたちにつないでいけるよう努力しています。



若い力が活躍するVEEma。



代表取締役
鈴木 和男さん



本社

VEEma 株式会社

代表者：代表取締役 鈴木 和男
設立：1981年(昭和56年)12月26日
資本金：1,000万円
従業員数：8名

事業内容：井戸洗浄復元延命化技術、水中テレビカメラ調査、井戸掘削、各種配管特殊洗浄、給排水衛生設備・メンテナンス工事など

本社：〒918-8063 福井市大瀬町23-107
☎ 0776-35-5555 FAX 0776-35-5599
E-mail : nippon@veema.jp